



# MS321

## USER MANUAL



# ご使用の前に

本製品をご購入頂き有難うございます。

安全にご使用いただく為にマニュアルをよくお読みになり、大切に保管して下さい。



## 警告

以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響(死亡、重傷等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。



- 付属のACアダプター以外の電源では使用しないで下さい。
- 電源コードの取扱いには十分ご注意ください。重い物を載せたり、無理な負荷をかけたり、引っ張ったりしないで下さい。
- 本製品を可燃物又は、暖房機器等の熱源の近くでは使用しないで下さい。
- 本製品を濡らしたり、水をかけたりしないで下さい。又、雨・霧・雪等が発生している場合、海辺、水辺等でのご使用には特に注意が必要です。
- 本製品の上に、水の入った容器、花瓶、飲料、薬品等や小さな金属類を置かないで下さい。これらが内部に入りますと大変危険です。



- 本製品をご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使い下さい。それ以外のものをお使いになりますと、重大な事故が発生する場合がございます。
- 煙が出たり、変な臭いや異音がする等の異常がある場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



- 本製品を分解したり、改造しないで下さい。
- 正規代理店である弊社以外で修理・交換をされますと1年間の保証が無効となります。



- 本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。



## 注意

以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。



- 本製品を設置する際には、以下のような場所には置かないで下さい。
  - ・本体の落下する恐れのある不安定な場所
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・気温が極端に低く、又は高くなる場所
  - ・通気性の悪い場所
- 本製品の接続ケーブルが人の通り道や物の下に置かれないようにご注意下さい。
- 本製品を強い電力を持つトランスフォーマー、発電機、ライト等の機器の近くに置かないで下さい。
- 本製品の通気のために、機体の周りに十分な空間を確保して下さい。
- 本製品をスタンドに取付けて使用される場合、その取扱には十分ご注意ください。



- プラグを差し込む前に、本製品の電源がOFFになっていることを確認して下さい。
- 本製品に、オーディオ機器・楽器等を接続された後に全てが正しく接続されている事をご確認下さい。
- 電源スイッチを入れる前に、本製品のボリュームが最小になっている事をご確認下さい。
- アースに関しては可能であれば接続することをお奨めします。
- 本製品のお手入れをされる際は、全てのプラグを抜いてから行って下さい。アルコール、化学薬品等は使用せず、水気が本製品の中に入らないよう注意し、乾いた布等でお手入れをして下さい。



- 電源が入っている状態で、接続機器を抜き差ししないで下さい。機体破損の原因となります。
- 落雷の際、又は長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行って下さい。




- 音が歪んでいる状態で使い続けた場合、機体が破損したり異常に高温になる事がございますのでご注意ください。



- 本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。




- 廃棄する際には必ず地域の条例に従って下さい。




**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または負傷を招く可能性が想定される内容、及び負傷または物的損傷が発生する頻度が高いことが想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が負傷したり物的損傷の発生が想定される内容、及び物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



**お願い**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、商品本来の性能を発揮できなくなったり、機能停止を招く内容を示しています。

外部要因によって生じた本製品の故障、不具合などの損傷につきましては、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

### ■設置上のご注意



**警告**

#### ねじ類はしっかり締めて下さい。

演奏中の転倒や落下を防ぐ為に、ネジ類はしっかり締めてからご使用下さい。

また、角度調整でギアを用いているモデルは、ギアをしっかりと噛みあわせてから固定して下さい。噛みあっていない状態で無理に固定すると演奏中に振動でドラム及びシンバルが脱落する事があります。



**注意**

#### 床面を傷つけないようにご注意ください。

セットする時はケガをしないように十分に注意して下さい。また、スタンド類やバスドラム、フロアタムの脚部に使用している脚ゴムは、長時間同じ場所に設置すると床面を傷つけたり、色うつりする事があります。

あらかじめ厚手のカーペットか、専用マットを敷いた上に設置されることをお勧めします。

#### 転倒にご注意下さい。

ドラム用ハードウェアは、三脚スタンドやラックスタンドなどによって支えられています。設置時には三脚を安定するよう十分に開いてご使用下さい。

ブーム式スタンドで、ブームを長く伸ばして使用される時には、三脚のうち一本の脚をブーム部と同じ方向にすると安定性が増します。



**警告**

#### 演奏以外の目的に使用しないで下さい。

本製品は、スタンド類に多くの金属部品を使用しております。

特にスタンド類は重量もあり危険ですから演奏以外の目的には使用しないで下さい。

スティック類は演奏以外には使用しないで下さい。スティックやワイヤーブラシはドラムを演奏する為のものです、人の頭を叩いたり投げたりといった危険な行為はしないで下さい。

スティックの折れた破片にご注意下さい。スティックは木製品です。演奏中に折れた破片が飛び散る可能性がありますのであらかじめご注意ください。



**注意**

#### 近隣に迷惑にならないように配慮して下さい。

演奏時には振動を伴います。近隣の方の迷惑にならないように練習時間に配慮して下さい。

#### タムパット、スタンドの調整時には、必ず上部を支えながら調整して下さい。

タムパットやシンバルの高さや角度を調整する際に急激にネジをゆるめるとタムパットやシンバルの落下によって指などを挟む恐れがあります。

片手でタムパットやフィルタ部をしっかりと支えてゆくりとネジを締めて下さい。

#### 三脚部の折り畳みにご注意ください。

スタンドの三脚を収納する際には、スタンドを持っている指を挟む恐れがありますので十分注意して下さい。

#### スタンドの突起部にご注意下さい。

スタンドにはネジ類やブームアームなど色々な突起物があります。セッティングの際には顔や頭などぶつけないように注意して下さい。

#### パイプの内面にご注意下さい。

パイプを抜いて収納する場合やセッティングのためにパイプを抜いた場合は、パイプの内面で指にケガをする恐れがあります。故意もしくは不必要にパイプのなかに指をいれないで下さい。

#### ドラム椅子の上に立ったり、踏み台にしないで下さい。

ドラム椅子の上に故意に立ち上ったり、踏み台の代わりに使用すると、転倒したり壊れたりする恐れがありますので、ドラム椅子はドラムの演奏目的だけに使用して下さい。

### ■保管上のご注意



**お願い**

#### 高温・多湿となる場所は避けて下さい。

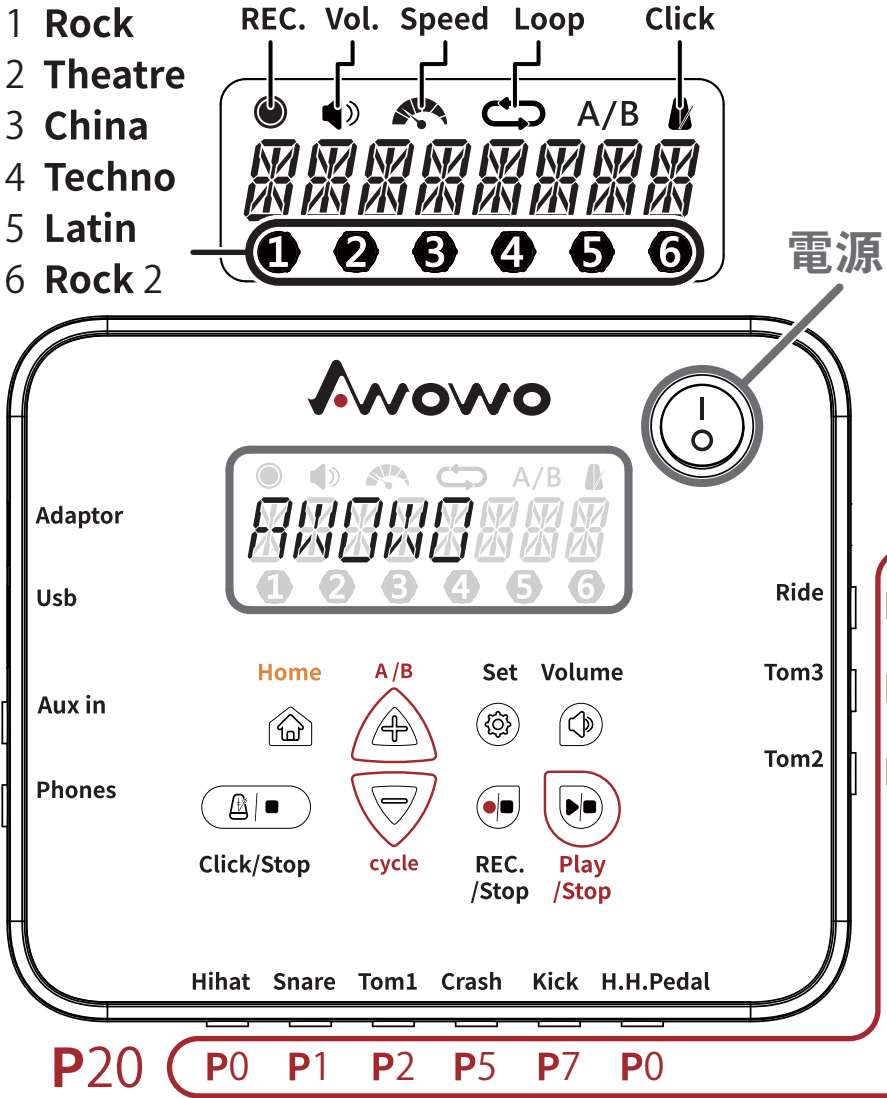
車の中や直射日光の当たる場所に長時間ドラムを保管すると、熱により樹脂部品（脚ゴム、タムパット、ABSシンバル）などが劣化・変形する恐れがあります。保管場所には十分注意して下さい。

#### 金属部分は時々乾拭きして下さい。

さびを防止する為に、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々柔らかい乾いた布で乾拭きして下さい。

また、シンナー・ベンジン・漂白剤・家庭用洗剤等は使用しないで下さい。破損の原因になります。





※ 本機のUSB接続はMIDI出力をサポートしています。

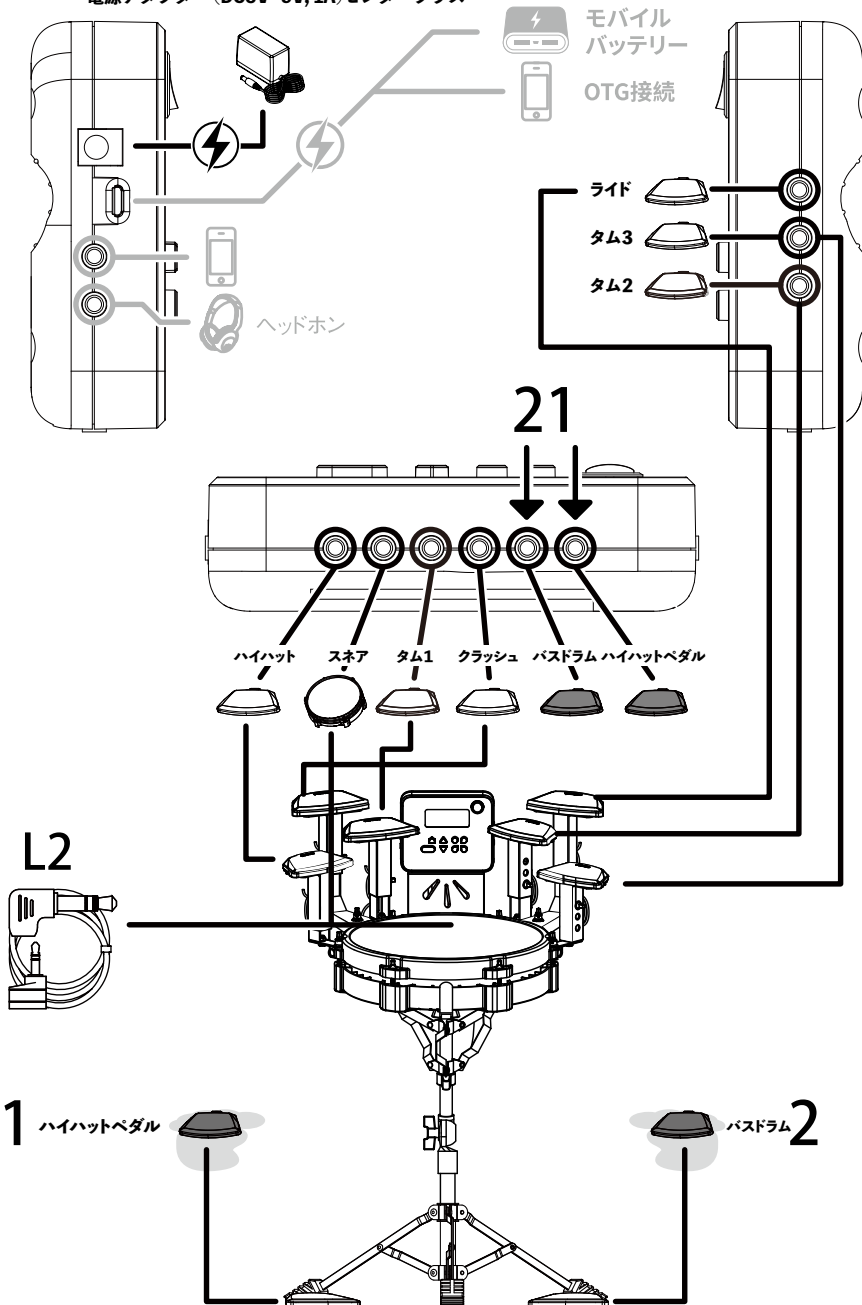


左の二つのボタンを同時押しすると工場出荷時の設定に戻すことができます。

ICON:  付属パーツ

 電源

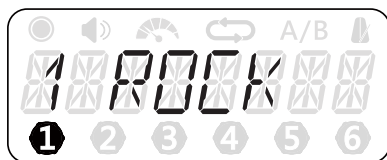
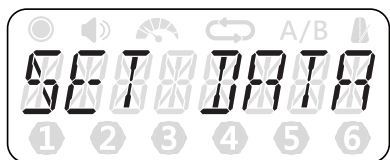
電源アダプター (DC5V~9V, 1A) センタープラス





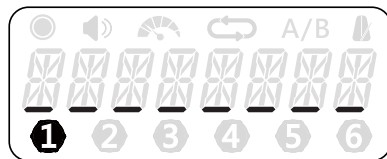
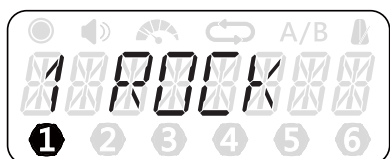
homeボタンを押すことで、どのモードの状態でもホームに戻ることができます。

HOME

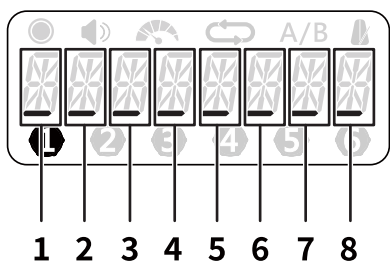


## 叩く強さの検出

ホームの状態で、再度ホームボタンを押すと叩く強さを数値で検出できます。



パッドを叩くと検出された強さが表示されます。



1 HIHAT&FOOT

2 SNARE

3 TOM1

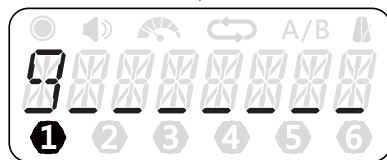
4 TOM2

5 TOM3

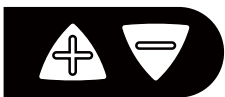
6 CRASH

7 RIDE



8 KICK




強さは1-9までの数字で表示されます。

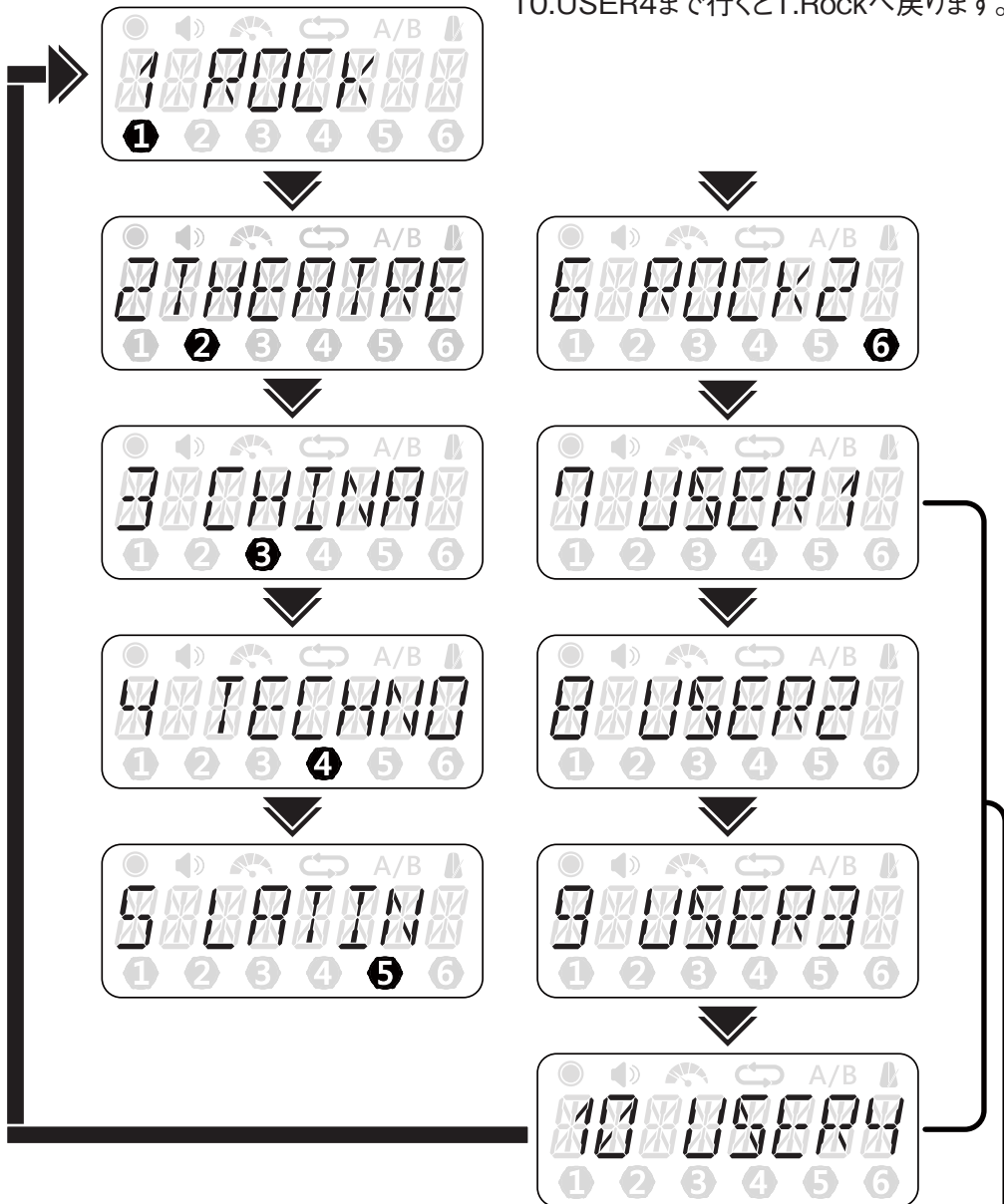


## サウンドキットの切り替え

  のボタンを押すことで  
プリセットサウンドキットの切り替えが  
できます。

 ボタンを押した場合

1. Rockから一つづつ数が上がります。
10. USER4まで行くと1. Rockへ戻ります。



USERプリセット(7.8.9.10)に関しまして  
は15ページをご参照ください。

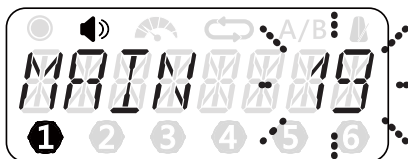


を押すことで各種ボリュームを  
調節できます。

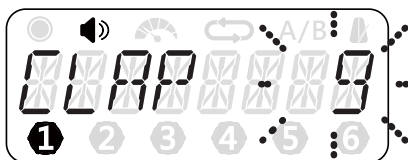
## ボリューム調節



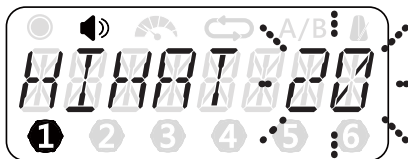
を押すごとに下図のように調節する対象が切り替わります。



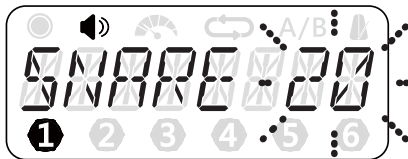
か を押してキット全体の  
ボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



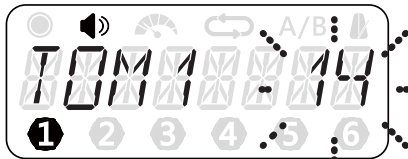
か を押してメトロノーム  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



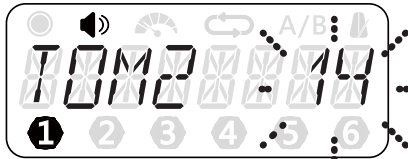
か を押してハイハットの  
ボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



か を押してスネア  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



か を押してタム1  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



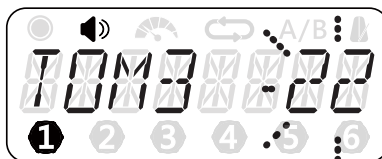
か を押してタム2  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



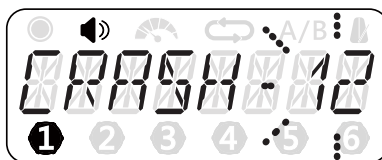
## ボリューム調節



を押すことで各種ボリュームを調節できます。



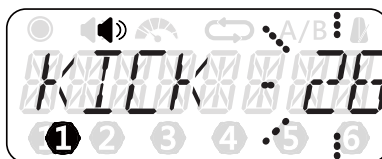
↑ か ↓ を押してTOM3  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



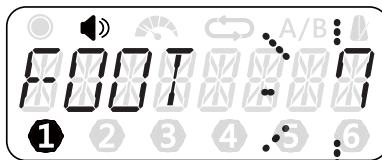
↑ か ↓ を押してクラッシュ  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



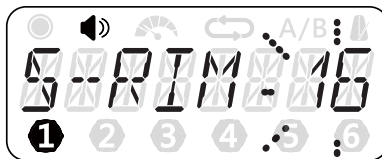
↑ か ↓ を押してライド  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



↑ か ↓ を押してキック(バス)  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



↑ か ↓ を押してハイハット  
ペダルのボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。



↑ か ↓ を押してスネアリム  
のボリュームを調節します。  
長押しで素早く上げ下げできます。

## メトロノームの設定



を押すことでメトロノームをスタートできます。

その後 か を押すことでメトロノームの設定が可能です。

その後 を押すことで設定項目を変更できます。

か を押してリズムパターンを設定します。

か を押してメトロノームのサウンドを設定します。

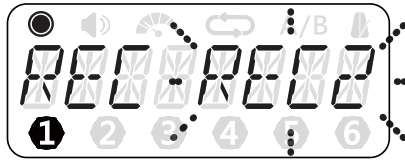
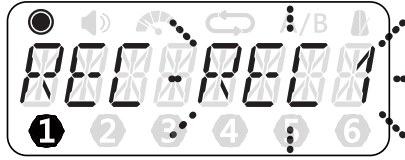
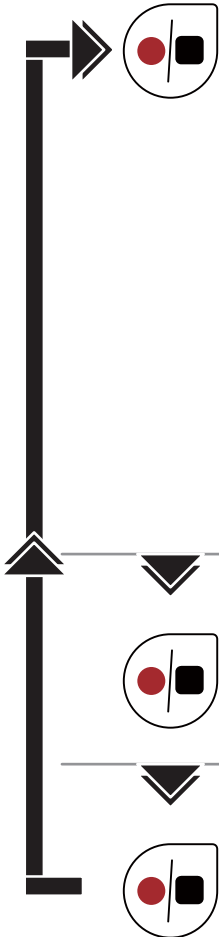
DIDA はクリック音  
HUMA は声でのカウントです。



一度 を押してホームへ戻り を押すとメトロノームがストップします。

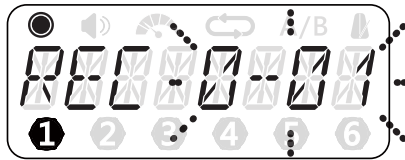
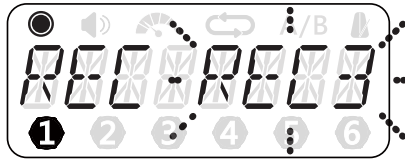
# 録音




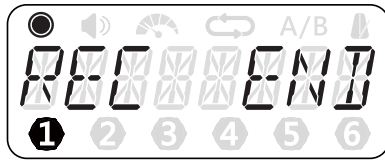
を押して、チャンネルを選択後録音が可能です。




 か  を押して録音するチャンネルを設定します。



 を押して録音を開始します。



 を押して録音を終了します。



# 録音の再生と停止



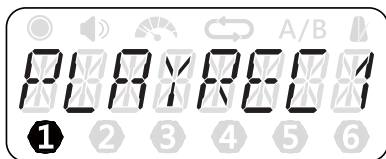
 を押して、録音したチャンネルを選択後再生します。






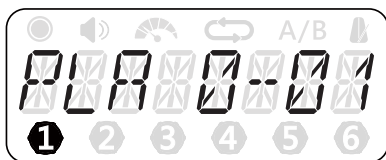
※再生してもドラムの音が何もしない場合、すぐに再生を止め、ホームへ戻ってください。




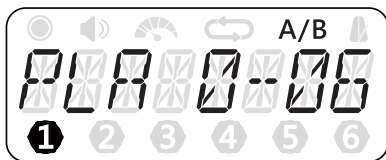
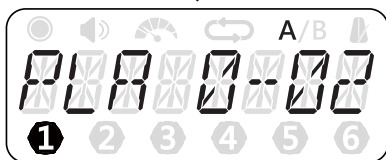
## 録音の再生と停止 録音した音源でループを作成できます。





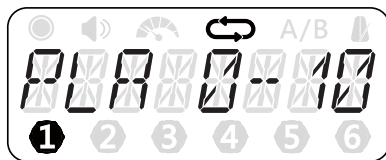
 か  を押してループを作成するチャンネルを選択し  を押して再生を開始します。




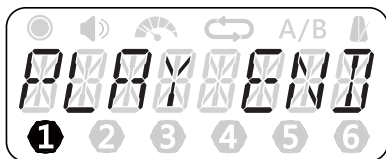
再生中に  を押すとループ作成モードに入ります。



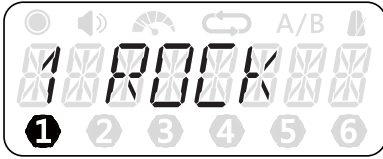
 を押した場所でループの始まり位置を設定し、 を押した場所でループの終了位置が設定されます。




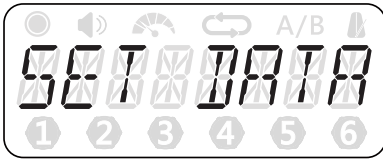
 を押すと録音の全範囲がループとして作成されます。




 を押すとループ再生が停止します。



 を押すと設定モードに入ります。



設定モードの状態では  を押すとユーザープリセット設定に入ります。

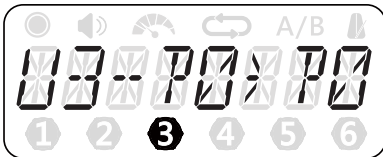


▲ rock

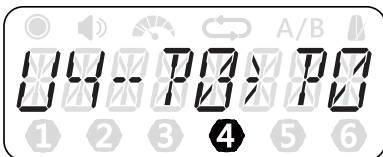


左の4つのサウンドキットより選択して、

 を押すと詳細設定に入ります。



▲ china



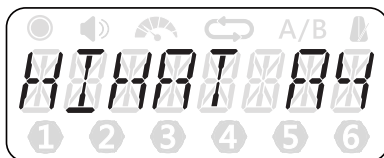
▲ electroacoustic



# スレッシュヨルド、感度設定

設定モードの状態でもう一度 (⚙️) を押すとスレッシュヨルド値、感度設定に入ります。

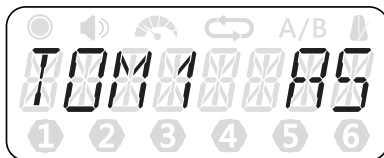
(+) (-) で項目を変更します。A○の表示がスレッシュヨルド設定項目です。



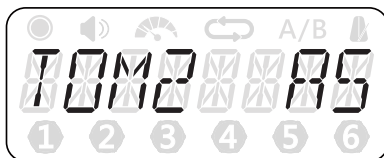
(⚙️) を押すとハイハットのスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。



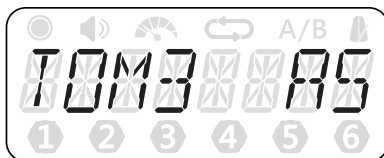
(⚙️) を押すとスネアのスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。



(⚙️) を押すとタム1のスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。



(⚙️) を押すとタム2のスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。




(⚙️) を押すとタム3のスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。

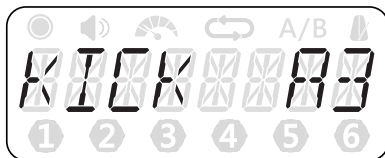



(⚙️) を押すとクラッシュのスレッシュヨルド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。

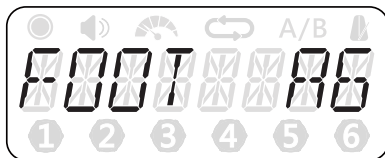
# スレッシュホールド値と感度の設定




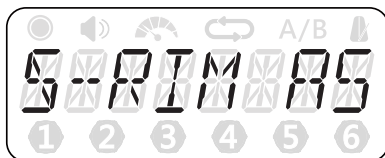
を押すとクラッシュのスレッシュホールド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。




を押すとバスドラムのスレッシュホールド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。



を押すとハイハットペダルのスレッシュホールド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。




を押すとスネアリムショットのスレッシュホールド値をA1～A8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音色、音量を変化させるために必要な力が強くなります。

## 感度の設定


スレッシュホールド値の設定項目の後に感度の設定項目があります。  
○の表示が感度設定項目です

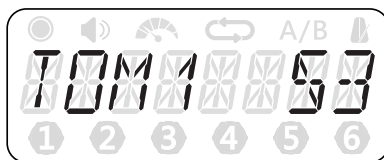



を押すとハイハットの感度をS1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すために必要な力が強くなります。

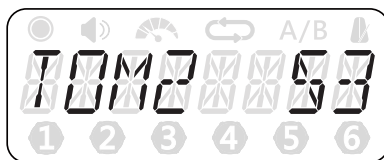
# スレッシュホールド値と感度の設定




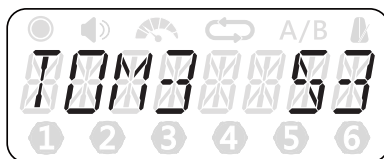
 を押すとスネアの感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。




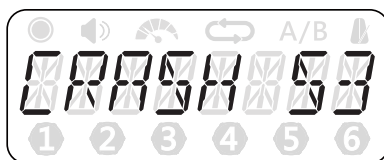
 を押すとタム1の感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。




 を押すとタム2の感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。




 を押すとタム3の感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。

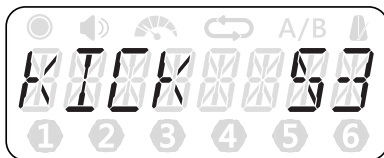


 を押すとクラッシュの感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。

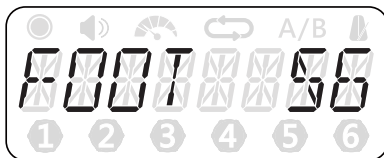


 を押すとライドの感度を  
S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が  
強くなります。

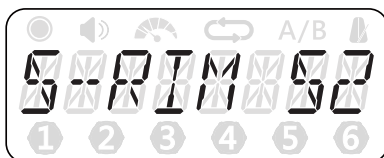
# ベロシティカーブと感度の設定



を押すとバスドラムの感度を S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が強くなります。



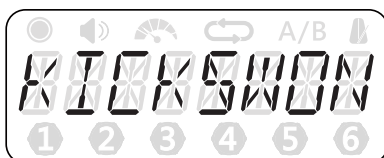
を押すとハイハットペダルの感度を S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が強くなります。



を押すとスネアリムショットの感度を S1～S8の間で設定ができます。  
※値が低いほど、音を出すためにために必要な力が強くなります。



を押すとクリアの値を10～30の間で設定できます。  
※値が高いほど高次倍音を減らしサウンドがクリアになります。



を押すとバスドラムペダルミュートの ON OFFが設定できます。



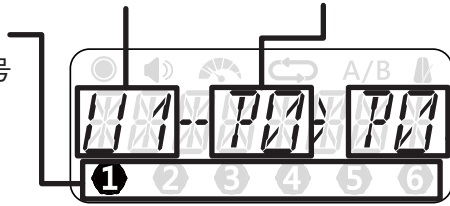
を押すとハイハットミュート時の音色が ON OFFから設定できます。



# ユーザープリセット設定

1. 選択されているユーザープリセットナンバー      2. 設定中のパッド番号

3. 設定されている  
サウンドキット番号  
(P.5参照)

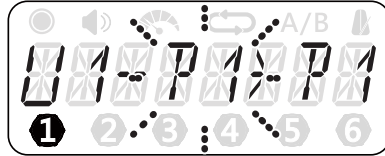


4. 設定したいパッド番号



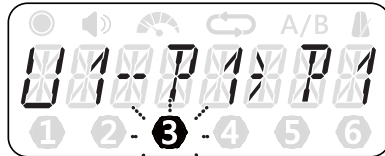
を押して

ユーザープリセットナンバー  
を選択します。



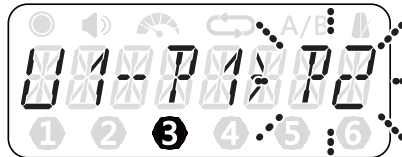
を押して

設定するパッドナンバー  
(P.5赤枠の箇所をご参照く  
ださい) を選択します。



を押して

設定するサウンドキット  
1~6 を選択します。  
(P.5黒枠の箇所をご参照く  
ださい)



を押して

割り当てるサウンドを選択  
します。

P0 = HIHAT & FOOT  
P1 = SNARE  
P2 = TOM1

P3 = TOM2  
P4 = TOM3  
P5 = CRASH

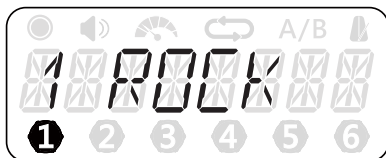
P6 = RIDE  
P7 = KICK



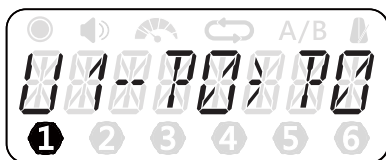
# ユーザープリセット例



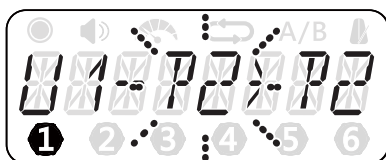
ここではユーザープリセット1のタム1をテクノキットのタム2へ変更する手順を例に説明します。



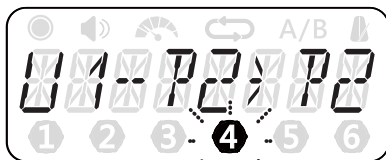
- を押して設定モードに入り、
- を押してユーザープリセット設定に入ります。



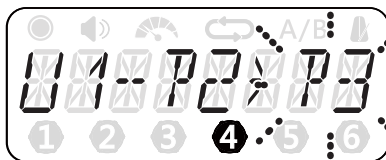
- を押してU1(ユーザープリセット1)を選択し、 で決定します。



- で、P2(タム1)を選択して、 で決定します。



- で、3(テクノキット)を選択して、 で決定します。



- で、P3(タム2)を選択して、 を押して完了です。

**Awowo**